

大阪港地震・津波対策アクションプランの新たな取組みについて

1. これまでの地震・津波対策アクションプランの取組み

・南海トラフ巨大地震による津波に対して想定される直接・間接被害の低減を目指し、関係行政機関、港湾関係事業者及び地域住民が協働して、臨海部における防災・減災対策の実効性を高め、防災意識の向上や港湾機能の早期復旧を図ることを目的とし策定した、『大阪港地震・津波対策アクションプラン』の各項目について、各機関が取り組んできた。

2. 台風・高潮に関する取組み(追加)

- ・昨年は、台風21号をはじめとした大型の台風が大阪港に来襲し、港湾施設が大きな被害を受けた。
- ・地震・津波対策アクションプランの項目については、その多くが高潮対策としても有効な対策である。
- ・一方で、風対策など台風独自の対策も必要となってくることから、台風対策を併せたアクションプランとして充実させていくこととしたい。
- ・今後、台風対策として必要な、新たなアクション項目の検討を進めるとともに、『大阪港地震・津波対策アクションプラン』の名称変更を行っていく。